



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R.I.D.2650 2011-2012



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

ガバナー
今西 信裕

ガバナー事務所
〒600-8216
京都市下京区堀小路通烏丸西入東塩小路町 614 番地
新京都市センタービル 5 階 520 号室

TEL 075-343-2650 FAX 075-343-2651
e-mail: gov2011-12@rid2650.gr.jp

GO 発第 162 号

2011 年 11 月 4 日

国際ロータリー第 2650 地区
各ロータリークラブ 会長 様

国際ロータリー第 2650 地区

直前ガバナー 栗田 幸雄

ガバナー 今西 信裕

ガバナーエレクト 河本 英典

ガバナーノミニー 坂本 克也

東日本大震災復興支援寄付金の
“募集趣意書” 関係書類ご送付について

謹啓 秋冷の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃からロータリー活動にご尽力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、この度の東日本大震災復興支援につきましては、先般の当地区の御寄付の願いを含めて既に多方面において多大な御支援をされていることと存じます。しかし、当地区としまして独自に派遣しました現地視察団からの報告からしても、事の甚大さは計り知れず更なる支援の継続こそ重要課題ととらえて、ここに「東日本大震災復興支援寄付金ご報告と募集趣意書」、「RI 第 2650 地区特別基金・クラブ計画事業補助金」、「東日本災害復興支援アンケート回答状況」を送付いたしますので、ご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

謹白



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R.I.D.2650 2011-2012



KYOTO SHIGA FUKUI NARA

良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

ガバナー
今西 信裕

ガバナー事務所
〒600-8216
京都市下京区堀小路通烏丸西入東塩小路町 614 番地
新京都センタービル 5 階 520 号室
TEL. 075-343-2650 FAX. 075-343-2651
e-mail: gov2011-12@rid2650.gr.jp

GO 発第 123 号

2011 年 11 月 4 日

国際ロータリー第 2650 地区
各ロータリークラブ 会 長 様

国際ロータリー第 2650 地区

直前ガバナー	栗田 幸雄
ガバナー	今西 信裕
ガバナーエレクト	河本 英典
ガバナーノミニ	坂本 克也

東日本大震災復興支援寄付金ご報告と募集趣意書

謹啓 秋冷の候、皆様方には、ご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます

常々 ロータリー奉仕活動にはなみなみならぬご尽力を賜り、またこの度の東日本大震災復旧・復興支援につきましては皆さま方から深甚なるご理解と多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年栗田ガバナー年度に皆さまから頂きました当地区義援金は、5,370 万円に上り、全国他地区の義援金と合わせました総額約 9 億 9,000 万円は、ガバナー会を通しまして一部は既に被災地に送られ、残りはより有効な活用方法を①震災孤児への奨学金制度②ファイブ・フォー・ワンプログラムを中心に、継続検討中でしたが、10 月 1 日現在の報告をさせていただきます。

当地区 5,370 万円の支援明細は、2011 年 10 月 1 日の時点で次のようになっております。

当初被災地 7 地区支援 630 万円。2011 年 9 月義援金として、RI2520 地区（岩手県、宮城県）1,370 万円。RI2530 地区（福島県）1,000 万円。合計 2,370 万円を送金しております。被災地区内の支援の必要な方々へ早期に渡ることを願っております。残金の 2,370 万円は、震災孤児への奨学金制度実施のための資金としてガバナー会での奨学金実施を予定いたしております。私達は早期の実行を願っております。

震災から約 7 ヶ月が経過し、マスコミの報道も一時の熱気は冷めつつありますが、現地では今なお不自由な生活の中で、悲しみを乗り越え、くじけそうになる気力を振り絞り必死になって新たな未来に立ち向かおうとする多くの人々がいます。既に多くの機会を通して申し上げております通り、私達は、これらの人々が我々の同胞であり、何よりも社会的弱者、困窮者を救済するというロータリーの人道的支援活動の原点に照らし、当地区としても全力を挙げ今後も継続してこれらの人々を全面的に支援していくべきであると思っております。継続支援の本番はこれからです。

全体像が掌握できず混乱を極める中での初期の緊急支援の状況は落ち着き、被災地では本格的な復旧・復興に向けての具体的なニーズが明らかになりつつあります。被災地の本格的な復興は、これからの継続支援が大変重要です。被災地の復興に向けたニーズは、各クラブ単独でご対応頂ける小規模なものから多くのクラブにご参加して頂くべく地区が調整しなければならないような極めて大規模なものまで多岐に渡ります。

これらのニーズに対応するためには多額の資金が必要となりますが、現在活用出来る地区独自の資金源は限られ、また新たに設立されましたロータリー財団の「ロータリー東日本震災復興基金」を活用するについても、複雑な諸条件が緩和されたとはいえ、当地区独自の活用には数々の制約がございます。

そこで、よりタイムリーに効果的な 2650 地区独自のプログラムで更なる支援を実施するため、地区独自の **RI 第 2650 地区特別基金** を設け、主に各クラブにご活用頂くとともに、地区を含む大きな支援プロジェクトに取り組む資金として活用したいと思います。

皆様からのこれからのご寄付と前年度繰越金及び地区事業節約等を合わせて、地区特別基金を作りたいと思います。また、この基金は 4 年度（栗田年度、今西年度、河本年度、坂本年度）続けて集めさせていただき、活用いたしたく存じております。今回の復興には最低この 4 年間の継続支援が絶対的に必要であります。今後 3 年間の各年度の寄付をお願いいたしたく存じます。2011 年 9 月に実施したクラブアンケート調査のまとめによりますと、各クラブでも独自に被災地におもむき、直接支援をされているクラブも多く、この「RI 第 2650 地区特別基金」の活用で今後も継続支援が可能となると考えます。

既に皆さま方には個人で、また各クラブでのご支援の他、先般の地区としてのご寄付のお願いを含め、多大のご負担をされていることと存じますが、当 2650 地区の皆さま自身のご意思で困難に立ち向かう被災地の皆さまへの更なる支援を継続するべくご高配、ご協力のほど伏してお願い申し上げます。まずは、支援金として本年度は下記の要領で募集させていただきます。

なお、各クラブへは基金活用の諸手続き等は別途改めまして、地区東日本災害復興支援特別委員会よりお伝えする予定でございます。

末筆ながら、貴クラブの益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

記

1. 金額・・・あくまでも寄付金ではありますが、出来る限り多額をお願いいたします
(本年度 1 会員 1 万円程度を想定しております。4,650 人 — 4,650 万円)
2. 第一回支援金締切り日・・・2012 年 1 月 31 日
3. 振込先・・・京都銀行 京都駅前支店 普通口座 3366388
東日本災害復興支援特別委員会 幹事長 片岡 宏二
4. 送金後に、以下の送金連絡状をガバナー事務所迄送付くださいますようお願い致します。
以上

送 金 連 絡 状 東日本大震災復興支援寄付金

義援金 _____ 円を _____ 月 _____ 日に上記銀行口座に振り込みました。

クラブ名： _____ ロータリークラブ

送付先：ガバナー事務所 FAX：075-343-2651